

図書館の蔵書紹介

1. EUを知ろう！ 駐日 EU(欧州連合)代表部の寄贈図書

皆さんは、EUをどれほど知っているだろうか？ EUとは、欧州28カ国からなり、5億人を超える人口と、アメリカを凌ぐ経済力を持った、世界最大の地域統合機構である。

現在、図書館には、駐日 EU 代表部から寄贈を受けた和書・洋書合わせて2500冊の EU 関係の著書が、皆さんに読んでいただけるのを待っている。これはもともと駐日 EU 代表部の資料で、筆者が EU からジャン・モネ・チェア（EU を代表的に研究する者）という称号を受け、前大学でヨーロッパ研究所を立ち上げた後、駐日 EU 代表部から、是非 EU 研究に役立てて下さいと、寄贈していただいたものである。

しばらく研究室で閲覧してもらっていたのだが、是非多くの学生、教員、研究者の皆さんに貴重な蔵書を使っていただきたいと願い、本学図書館に寄贈させていただいたものである。

戦後から冷戦終焉までの60年近くに渡る EC・EU に関する図書が、歴史、政治、経済、法、文化、社会に至る様々な分野の蔵書として、皆さんの使用を待っている。

駐日 EU 代表部の皆様、EU 蔵書寄贈を取り持って下さった駐日 EU 代表部の高橋甫様には、この場を借りて、心より感謝申し上げます。ぜひ、多くの皆様に利用していただきたいと思います！

EU 本部のある Brussel



2. 歴史を知り、隣国との友好を！「世界の歴史教科書コーナー」—— 鳥越泰彦さんを偲ぶ

近年、各国の「歴史教科書」が問題となっている。しかし現実にどう書かれているかは知らない人が殆どであろう。中高一貫の優れた教育で知られる麻布学園の世界史の先生、鳥越泰彦さんが韓国の高校との交流の最中に亡くなられ帰らぬ人となった。48歳であった。鳥越さんは私が東大駒場の講師として東欧史を教えていた時に出会い、その時以来の友人である。麻布教師就任後、鳥越さんは世界の歴史教科書に関心を持ち、海外調査毎に歴史教科書を集めて回られた。そして世界歴史教科書と歴史認識を比較する博士論文の執筆途上で倒れられた。麻布の偲ぶ会で麻布学園元校長の氷上信廣先生、元教員の加藤史郎先生（愛知県立大学元教授）から、鳥越さんの貴重な蔵書を受け入れてくれる大学図書館を探していると声を掛けて戴いた。光栄なこととして本学図書館にお話しし、快諾いただいた。

世界歴史教科書コレクション



(地下1階 電動書架)

ありがたいことに「世界歴史教科書コレクション」として、全国の研究者や院生、学生さんの必要に供して下さるとの温かい決断も戴いた。鳥越さんは青山でも教鞭を取られ、麻布から歩いて通われていた。若者たちの歴史認識形成としての歴史教科書の意味を考え、歴史教育・研究の一環として利用していただければ幸いです。

ぜひコレクションを訪れて下さい。全体で350余冊、書棚6段分の歴史教科書が、皆さんの読書を待っています！